

⑩【社会医療法人新潟勤労者医療協会 下越病院】

住 所	〒956-0814 新潟県新潟市秋葉区東金沢1459番地 1		病床数：261床
診療科目	内科・外科・整形外科・小児科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・皮膚科・婦人科・リハビリテーション科・麻酔科・泌尿器科・リウマチ科・糖尿病内科・心臓血管外科・総合診療科		
研修責任者名	本岡 丈成（副院長）	連絡先：kaetsu_ishikensyuu@niigata-min.or.jp 0250-22-4711（代表）	連絡先担当者名：伊藤・小林 （研修担当事務）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：1人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、2年度：1人、3年度：0人、4年度：1人 ・その他プログラム採用 平成23年度：2人、24年度：2人、25年度：3人、26年度：1人、27年度：1人、28年度：3人、29年度：1人、30年度：1人、令和元年度：2人、2年度：2人、3年度：3人、4年度：2人、5年度：6人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（循環器・消化器、呼吸器、神経、総合診療科） 選択：リハビリテーション科		総合内科専門医7人、内科専門医1人、消化器病6人、内視鏡5人、肝臓2人、胃腸科3人、循環器1人、心血管インターベンション治療1人、神経内科2人、脳卒中1人、認知症1人、アレルギー2人、リウマチ1人、リハ3人、小児科2人、整形1人、麻酔科1人	内科9人、消化器病2人、内視鏡2人、胃腸科3人、神経内科2人、脳卒中1人、認知症1人、プライマリーケア3人、リハ2人、小児科1人、総合診療2人
施設の概説・特徴			
当院は、第一線の医療、プライマリーな医療を通して地域に貢献したいと考えています。一般病棟261床（うちHCU4床、回復期リハビリテーション病棟36床、障害者病棟41床、地域包括ケア病棟44床）、16標榜科を持ち、旧新津医療圏を中心に時間外救急件数4,000件（救急車、ウォークインを含む）を受け入れています。また、予防医療活動を重視して取り組み、地域での健康相談会を行っております。さらに、在宅・介護分野でも患者さんの往診に対応しています。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：（循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、総合診療科から選択して研修が可能です） 総合診療科では基本的な能力を身につけます。1つの科で多彩な疾患を見ることができ、診断や幅広い視野を重視した技術を体得できます。当院では緊急対応も含め、積極的に消化管内視鏡や心臓カテーテルを行っています。医師1人あたりの施行回数は県内でもトップクラスであり、当院の風土と相まって研修医が経験できる回数も豊富です。初期研修のうちに技術を身に付けたい方も、お待ちしております。			
研修の概説と特徴			
当院は、1979年より初期研修医の受け入れを開始し、これまで多数の医師を養成してきた実績があります。2004年の卒後臨床研修必修化以降は41名の研修医を受け入れてきました。旧新津地域の中核病院として二次救急（一部三次）を担っており、Common Diseaseを経験し、プライマリーケアを中心とした幅広い診療能力を身につけるには最良の環境にあります。			
研修医の当直			
初期研修期間を通して行い、基本的に全ての科に対応します。指導医とともに副当直として時間外の救急外来と夜間の病棟対応を行います。研修状況に応じて指導医と研修医を同時に呼ぶ“同時コール”、研修医を先に呼ぶ“ファーストコール”と、研修医の力量に合わせてステップアップします。専門医へのコンサルトが必要な場合は各科の拘束医へ連絡をとります。研修医単独での当直は行いません。当直明けは午後から休みが保障されます。			
処 遇			
●給与：（1年次月額） 固定給与：399,400円（臨床経験5ヶ月に満たない時期は369,400円）、賞与：643,087円（2021年度実績） （2年次月額） 固定給与：424,400円、賞与：1,087,020円 （当直手当）平日15,000円、土休日25,000円（半直手当）平日7,500円、土休日12,500円 学会出張：年180,000円まで補償。演題発表する場合、別途全額補償。 ●食事：昼食は食堂もしくは売店にて購入できます。当直時は、夕食と翌日の朝食・昼食を病院で用意します。 ●宿舍：個人準備 住居手当あり（25,000円） ●居室：研修医専用部屋有り。研修医の机は医局内に一人ずつ用意されています。 ●図書・文献：各種資料検索のための図書室が常備されていて、医中誌webなど無料で利用可能。各領域の主要学会誌も準備されています。また、月に10,000円が研修医図書費として補償されています。 ●インターネット環境：医局内のパソコンから常時利用可能。各自の机からもインターネット接続が可能。“up to date”施設加入済			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。